



## はくろ（白鶴）の散歩Ⅶ

### 【今年もやりました！4年次勉強合宿】

令和7年4月23日（水）から25日（金）にかけて、4年次生は国立オリンピック記念青少年センターにて勉強合宿を行いました。この合宿の目的は、①学習習慣の確立をはかる、②基本的な知識の習得と課題解決力を養う、③学年全体で学びに向かう力を育む、の3つです。この勉強合宿について、2日目の夜に行われた卒業生の講演会に参加した澤村副校長からレポートしてもらいます。

このところ毎年、4年次生の後期課程生の最初の行事として国立オリンピック記念青少年センターで実施しています。2泊3日の日程の中には、国・英・数の講座はもちろん、リクルートの講師による勉強法や最新受験情報の講演会や大学見学、卒業生による講演会などもあり、バラエティに富んだ盛りだくさんの内容になっています。

講演を行った卒業生は、11期生の先輩、10期生の先輩、2期生の先輩の3名。今年3月受験を経験したばかりの11期生の先輩からは「苦手科目を持っているといかに苦労するか」という切実な体験談とそうならないためのアドバイス、大学2年生で毎日の充実した生活を送っている10期生の先輩からは「中等生活における勉強の心構え・何のために勉強するのか」といった根本に触れるテーマについて語られました。それが自己の体験と実感に基づいた話であるだけに、語られる言葉の一つ一つが生徒の心に届き、しみこんでいく様子が見て取れました。同じ学校で学んだ先輩の言葉はやはり共鳴・共感を誘います。

最後に話していただいたのは2期生の先輩です。この方は、現在三井物産で活躍されている先輩です。決して優等生ではなかった前期課程生時代のお話、東大に進学されてからの人間関係づくりのお話、インターンも含め様々な留学を経験されたお話、そしてこれから夢…とたっぷり話してい

令和7年5月2日  
～校長室の窓から～ 令和7年度 No.4  
神奈川県立平塚中等教育学校  
校長 松本 靖史

ただきました。自分自身を成長させるため常に自分のアンテナを磨き、仲間と切磋琢磨し合っている先輩の生きる姿勢自体に、生徒は次第に感化されていき、会場自体が高揚していくような雰囲気となりました。感激して涙を流す生徒もいたほどです。3番目の目的に「学年全体で学びに向かう」とありますが、学年全体の「横のつながり」だけでなく、先輩との「縦のつながり」を感じるひとときでした。

さらにもうひとつ付け加えると、聞いていた生徒の質問力の高さにも感心しました。話をよく聞くだけでなく、自分の中で咀嚼し、さらに内容を掘り下げるような良い質問をする生徒がとても多くいるように感じます。最後の2期生の先輩に向けられた「一番落ち込んだ時はいつか」という質問、この質問のおかげで聴衆の多くが本当に良い話を聞けたことと思います。講演の内容にもありました、「人間力・質問力・突破力」を大切に育てていきたいと思いました。（澤村副校長）

### 【令和7年度第1回生徒総会】

令和7年5月1日の6・7校時には、今年度1回目の生徒総会が開催されました。



学級委員による整列・人数

確認が完了したのち、定足数の確認、開会の言葉、議長団選出と続き、議事が開始となりました。なお、今回の議長団には1年生2名と3年生2名が選出されました。

議事は、生徒会費増額案、令和6年度決算報告、令和7年度予算案、令和7年度生徒会活動計画の順で質疑が行われました。生徒総会資料は、あらかじめ全校クラスルームで配信し、当日もスクリーン上に資料を投影するなど、ペーパーレスにも気を配った総会でした。いくつか質問はあったものの、いずれの議案も承認され、生徒総会は無事終了しました。